

母塾

VOI-47

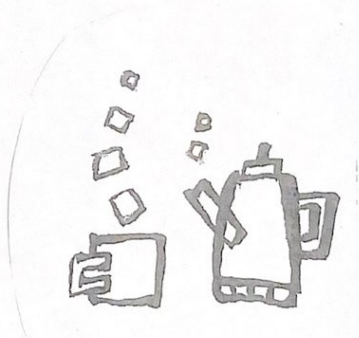
2020-12-3

illustrated by Kurumi

『子どもがいるおかげで』 いのはなはるこ

400時詰め原稿用紙を久しぶりに買いました。
大人になって400字に悩んでいます。
学校に持って行ってはいけないスマホを持っていってしまい、
保護者も反省文を書かなくてはならないのです。
先生に無断でアルバイトをしていて、こちらも反省文。
原稿用紙を買ってから、長男の時に買ったものが残っていたのに気づきました。
「なんで、私が謝らなきゃいけないの？」スマホを返してもらいながら、不服。
年長さんがスーパーで走り回り、おじいちゃんに怒られる。
謝りながら、「子どものために何回謝るんだろう」と不満。

子どもはそんな母の気も知らず、長男は「そんなことあった？」と笑っています。
私は反省文の書き出しにも慣れてきているというのに。
ま、これも子どもたちがいるおかげ。私に様々な体験をさせてくれているのでしょう。
子どもたちのいるおかげで…
初めて行った土手で野球の応援をしている私。
初めての公園で寝転んでいる私。
初めて「応援ウチワ」を買って写真を貼っている私。
年齢も経歴もまったく違うママたちと知り合っている私。
子どもが私をいろんなところに連れて行ってくれています。
私にいろんな体験をさせてくれています。



子どもがいない毎日でもまた違った経験があるでしょう。
でも私はこの予想もできない体験をしたかったのでしょう。
私の思う通りにならないということは、私の想像の範囲をこえてくれる
ということです。思いもつかない体験をしたかったのです。
「そう来ましたか！」と驚きながら、打ちのめされたり、拍手したり。
25年間、あいかわらずバタバタとしています。

harukoinohana1717@gmail.com